

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 30 日 (2021.4.30)

【公開番号】特開 2019-197604 (P2019-197604A)

【公開日】令和 1 年 11 月 14 日 (2019.11.14)

【年通号数】公開・登録公報 2019-046

【出願番号】特願 2018-91696 (P2018-91696)

【国際特許分類】

G 1 1 B 5/84 (2006.01)

C 0 9 K 3/14 (2006.01)

C 0 3 C 19/00 (2006.01)

B 2 4 B 37/00 (2012.01)

C 0 9 G 1/02 (2006.01)

【 F I 】

G 1 1 B 5/84 A

C 0 9 K 3/14 5 5 0 D

C 0 9 K 3/14 5 5 0 Z

C 0 3 C 19/00 Z

B 2 4 B 37/00 H

C 0 9 G 1/02

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 5 日 (2021.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 2 】

[ リン酸塩 (成分 C) ]

本開示の研磨液組成物は、研磨速度を維持しつつ表面粗さの悪化を抑制する観点から、リン酸塩（以下、「成分 C」ともいう）を含む。成分 C は、研磨速度を維持しつつ表面粗さの悪化を抑制する観点から、p H 2 の水性媒体中で完全には遊離せず（完全には  $H_3PO_4(aq)$  とならず）、塩の形態（イオン）で存在するリン酸塩が好ましい。一又は複数の実施形態において、p H 2 の水性媒体中で塩の形態（イオン）で存在する成分 C の割合は、p H 2 の水性媒体中に添加された成分 C の全量（100 質量％）に対し、好ましくは 10 質量％以上、より好ましくは 20 質量％以上、更に好ましくは 30 質量％以上である。例えば、成分 C がリン酸二水素ナトリウムの場合、p H 2 の水性媒体に添加した成分 C の 43 質量％が塩の形態（イオン）で存在する。成分 C がピロリン酸二水素ナトリウムの場合、p H 2 の水性媒体に添加した成分 C の 96 質量％が塩の形態（イオン）で存在する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 3 】

成分 C のリン酸塩としては、研磨速度を維持しつつ表面粗さの悪化を抑制する観点から、アルカリ金属リン酸塩が好ましく、アルカリ金属リン酸水素塩がより好ましい。アルカ

リ金属リン酸水素塩の具体例としては、リン酸水素二カリウム、リン酸水素二ナトリウム、リン酸水素二アンモニウム、リン酸二水素カリウム、リン酸二水素ナトリウム、リン酸二水素アンモニウム、ピロリン酸二水素二ナトリウム（酸性ピロリン酸ソーダ）、ピロリン酸ナトリウム、ヘキサメタリン酸ナトリウム、トリポリリン酸ナトリウム等が挙げられる。成分Cは、1種単独で用いてもよいし、2種以上を併用してもよい。